文学 歴史

～歴史ロマンと文学の香り高きまち～

数々の資料が語る歴史物語。
点在する多くの古墳・城跡。
近代文学の礎となった文学者たち。
原始古代から綿々と続く歴史の中で
遥か昔に思いを馳せる…

伊藤左千夫について…

伊藤左千夫（本名・伊藤幸次郎）は、アララギ派の歌人で、小説「野菊の墓」の作者としても有名です。
18歳の時に政治家を志して上京しますが眼病を患い断念します。その後、酪農業の世界に入り終生の生業とします。
酪農が安定した30歳頃に同業者の伊藤並根に歌の手ほどきを受け、37歳で正岡子規の根岸短歌会の門下に入ります。そこで同郷の蕨眞（けっしん／本名・蕨眞一郎）と出会い親交を深めます。子規の没後、左千夫を中心に創刊された根岸短歌会の機関紙「馬酔木」では、蕨真も編集として参加し財政面でも支えとなりました。
その後、蕨真によって山武の地で「阿羅々木」が創刊されると、左千夫は編集として参加します。第二巻第一号から東京の左千夫宅に発行を移し「アララギ」と表記を改めます。同誌は、左千夫門下であった斎藤茂吉や土屋文明、同人の島木赤彦など文学史上に名を残すアララギ派歌人の活躍の礎となりました。

伊藤左千夫の生家

静かな佇（たたず）まいを残す家

MAP E-6

この家で、伊藤左千夫は生まれ少年時代を過ごしました。築220年程経っており、趣のある茅葺になっています。敷地内には左千夫の設計した茶室『唯真閣』や、映画『野菊の墓』を記念して植えられたアララギの木もあります。

見学時間　9時～16時30分
休館日　毎週月曜、祝日の翌日（月曜が祝日の場合は開館、火曜が休館になります。）、年末年始、展示替・資料移設等作業時
お問合せ　0475-82-2842（山武市歴史民俗資料館）

伊藤左千夫記念公園

政夫と民子の像が建つ

MAP E-5

整備された園内には、小説『野菊の墓』主人公・政夫と民子の像や、左千夫の師正岡子規や、門人斉藤茂吉など8人の歌碑が建っています。

お問合せ　0475-80-1192（山武市都市整備課）

アララギ書画

雑誌『阿羅々木（あららぎ）』を巡る書画

阿羅々木とは木の名称であり、蕨眞が創刊した雑誌の名です。第二巻第一号からは東京の左千夫宅に発行が移りましたが、この地には創刊当時を偲ぶアララギ派の歌人たちの書画が残されました。

お問合せ　0475-82-2842（山武市歴史民俗資料館）

山武市歴史民俗資料館

左千夫や郷土の資料を収集展示　MAP E-6

1階は企画展示室、2階は常設展示室となっています。2階は伊藤左千夫に関する展示となっており、遺品遺墨を通し左千夫の生涯を追うことが出来ます。歌人小説家としてだけでなく子規に茶博士と言わしめた茶人左千夫としての一面も垣間見ることが出来ます。1階はテーマに沿って市内の歴史資料を展示しています。

開館時間　9時～16時30分（資料館）　9時30分～17時（分館）
休館日　毎週月曜、祝日の翌日（月曜が祝日の場合は開館、火曜が休館になります。）、年末年始、展示替・資料移設等作業時
お問合せ　0475-82-2842（資料館）　0479-80-7005（分館）

山武市歴史民俗資料館分館「松尾藩資料館」　MAP G-4

発掘調査で検出された礎石・瓦や写真、明治元年に掛川藩から移封した藩士が継承してきた甲冑・測量道具、四稜郭絵図・松尾藩発行高札を展示しています。明治4年に廃城となりましたが、松尾城は日本最後の築城です。

城跡

戦乱の足跡が残る大地

- 成東城跡　MAP D-5
- 津辺城跡　MAP E-5
- 松尾城跡　MAP F-3
- 山室城跡　MAP E-2
- 木原城跡　MAP B-4

寺社

～篤き信仰にふれられるまち～

祈り、願う。
太古の昔から変わらない人の姿。
ここには心の平穏を求めた証が
今も息づいています。

浪切不動院

朱塗りの本堂が目印

MAP D-5

正式には不動院長勝寺本堂といい、本尊の不動明王像は、かの行基菩薩が造作したとされています。石塚山の中腹の岩石上に造られた懸崖造りの赤い本堂は市内でも数少ない江戸時代初期の建造物です。

お問合せ　0475-82-2176

勝覚寺

お釈迦さまを守り、睨みをきかす四天王像　MAP G-7

創建は天暦元（947）年と伝えられています。現在安置されている本尊の釈迦如来像と四天王像、阿難・迦葉像はかの有名な仏師・運慶の作とされ、特に四天王像は2mを超える巨像で阿難・迦葉像とともに県の文化財に指定されています。

お問合せ　0475-84-0248　http://www.shokakuji.com

賀茂神社の大杉

どっしりとそびえたつ

MAP C-4

樹齢約500年と推定されている賀茂神社の大杉。どっしりと天高くそびえたつ姿は風格を感じさせ、御神木として氏子の信仰を集めています。

お問合せ　0475-82-2842（山武市歴史民俗資料館）

妙宣寺

なべかむり日親の霊跡

MAP C-3

時の室町幕府将軍に進言し怒りをかったため、拷問で焼けた鍋をかぶらされてもなお説法を説いたという「なべかむり日親」の霊跡として有名な寺院です。郷土の豪氏であった蕨家一族の菩提寺で、アララギ派の歌人蕨眞（けっしん）、蕨檀堂（わらびきょうどう）、蕨桐軒（わらびとうけん）の墓があります。

お問合せ　0475-82-2842（山武市歴史民俗資料館）

金刀比羅神社

六百七十余年の歴史と共に歩む　MAP G-3

後醍醐天皇の延元二（1337）年10月に、讃岐国・金刀比羅宮より奉勧遷所されたと伝えられています。社殿は、時代により数度の造営がなされ、現在の社殿は昭和4年に総檜造・銅板葺きの大正、昭和の神社建築異彩を極めた造りになっております。

お問合せ　0479-82-0324

五所神社

源頼朝伝説の残る神社

MAP H-5

源頼朝が陸奥平定の折、武運長久・国土安泰を祈願したと伝えられる神社です。本殿は桃山時代の華やかな様式美を継承した江戸時代の建築物で唐破風、千鳥破風、入母屋造りで造られており、豪華な彫刻や彩色が各所に施されています。県の指定文化財。

お問合せ　0475-86-2324